

リライトプリント取扱説明書

データ作成について

目 次

- 1. リライトプリントについて P2～P4
- 2. データ作成（Adobe Illustrator） P5～P11

1.リライトプリントについて

■仕組みについて

専用のメディアにパターン化した印刷を組み合わせる事で

通常時に見える絵柄から、電照時に別の絵柄をカラーで写し出す事ができます

<通常>



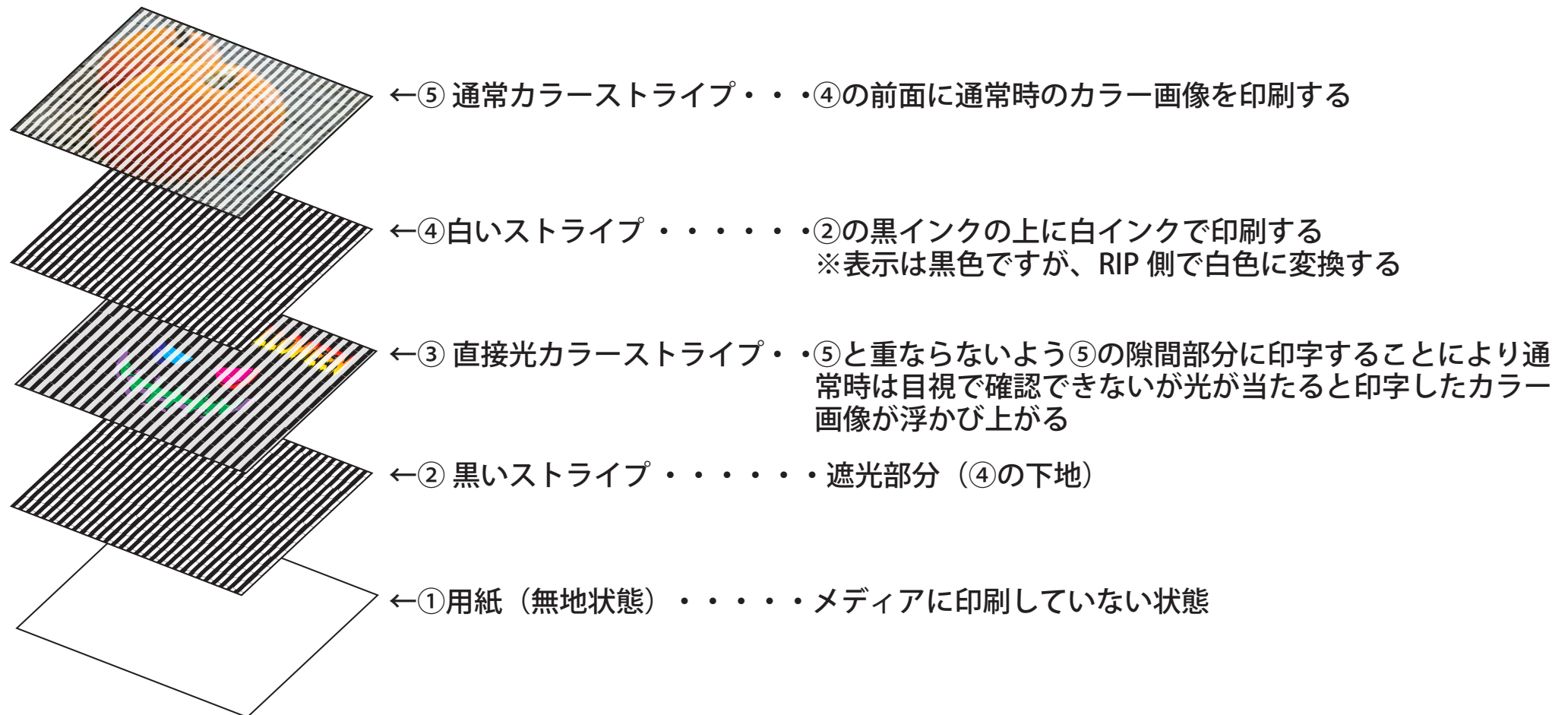
照射

<照射>



1.リライトプリントについて

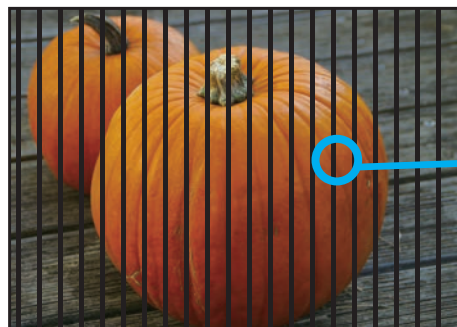
■パターンの仕組み



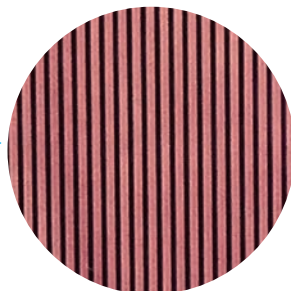
1.リライトプリントについて

■見え方①

<通常時>

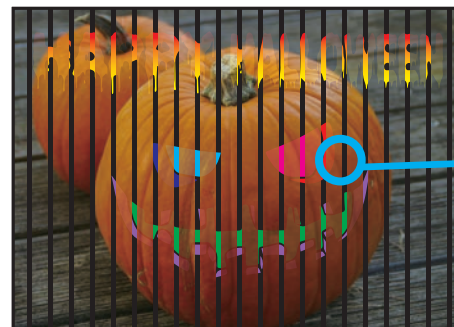


拡大表示

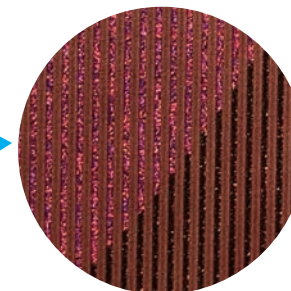


通常時のカラー画像と電照時のカラー画像を交互に形成するため、縦にストライプが入ります

<照射時>



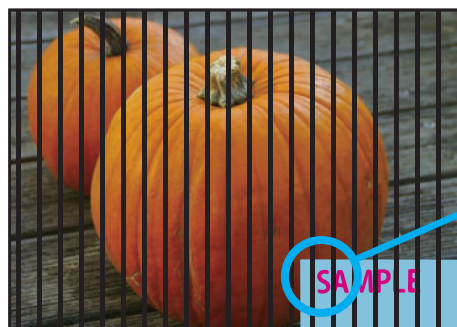
拡大表示



黒ストライプ部分が直接光により、直接光カラーストライプの絵柄が浮き出ます

■見え方②

<通常時>



拡大表示



小さい文字を使用の場合、ストライプがかかり、見えづらくなります。

<照射時>



拡大表示



小さい文字を見えやすくするには「2. データ作成」参照

2. データ作成 (Adobe Illustrator)

【使用ソフト】

- Adobe Illustrator

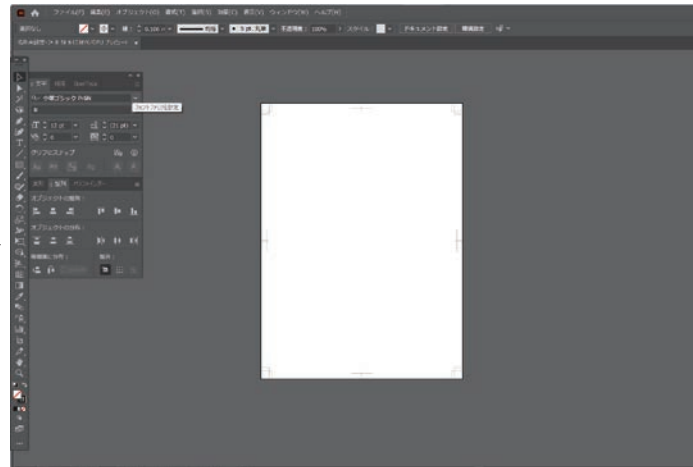
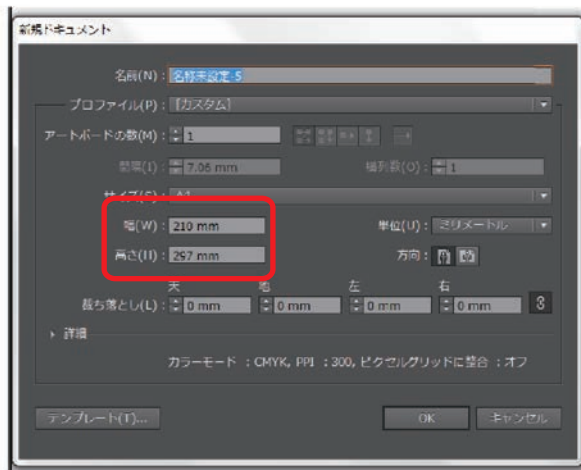
※対応バージョンは入稿先の印刷会社にお問い合わせください

※カラーモードはCMYKカラーで使用してください

- Adobe Illustrator 以外の入稿については入稿先にお問い合わせください

【作成手順】

1. 使用するドキュメントサイズを設定



※アートボードの高さにつきましては制限がございます。
トンボを含め「h2520mm」以内で作成ください。

2. データ作成 (Adobe Illustrator)

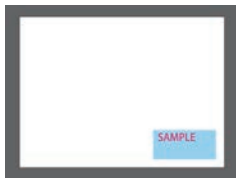
2. レイヤーを作成・データ配置について



→ ①: 「P」レイヤーを作成し、ストライプを入りたい場所を長方形ツールを使用し枠で囲む



→ ②: 「T」レイヤーを作成しトンボを配置
※トンボ不要な時でも「T」レイヤーは作成し表示させてください



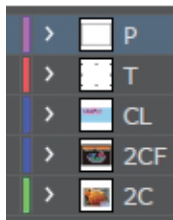
→ ③: 「CL」レイヤーを作成しストライプをかけない絵柄や文字を配置
ストライプをかけないことにより小さな文字・ロゴを見えやすくさせる
※照射データを入れるのは不可
※不要な時でも「CL」レイヤーは作成し表示させてください
※このレイヤー内のフォントは 7pt 以上推奨



→ ④: 「2CF」レイヤーを作成し電照時で光らせる絵柄を配置
※不透明度の調整やドロップシャドウなど透明効果の設定は使用しないでください。反映されません
黒色 (BK100%) は、電照で黒く光りません
※画像解像度については B1 サイズ以内は原寸 300dpi、A0 サイズ以上は原寸 72 ~ 150dpi が目安です
※2CF の照射データ内に黒色がある場合、黒色は光りません
透明がある場合は黒色に変更され、白色がある場合は白く光ります
※このレイヤー内のフォントは 40pt 以上 (線幅 1mm)
例外 1: 40pt 以下での生産が必要な場合は印刷会社にご相談ください



→ ⑤: 「2C」レイヤーを作成し通常光で見える絵柄を配置
※画像解像度については B1 サイズ以内は原寸 300dpi、A0 サイズ以上は原寸 72 ~ 150dpi が目安です
※2C は 2CF の下に配置してください。異なると仕上がりに影響します
※このレイヤー内のフォントは 40pt 以上 (線幅 1mm)
例外 1: 40pt 以下での生産が必要な場合は印刷会社にご相談ください
例外 2: 「CL」レイヤーと重複するデータ



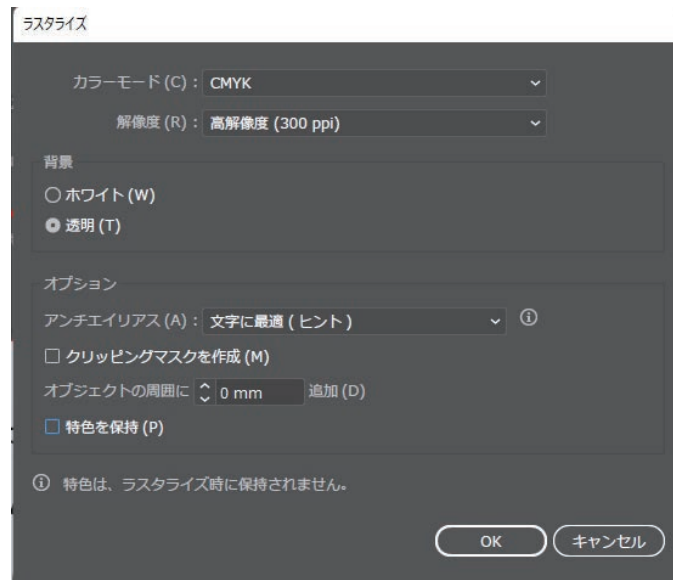
レイヤー表示は、必ず上から「P」、「T」、「CL」、「2CF」、「2C」の順にする

→ ※レイヤーは上記①～⑤の 5 つのみ作成し、ロックは必ず外してください
※レイヤー名はすべて半角の大文字にしてください

2. データ作成 (Adobe Illustrator)

3. ラスタライズについて

データを最適化することにより、印刷時のトラブルの防止となります。



「CL」、「2CF」、「2C」の部分はラスタライズ（ビットマップ化）してください

カラーモード : CMYK

解像度 : B1 以内の場合 高解像度 (300ppi)、A0 以上の場合 標準 (150ppi) が目安です

背景 : 透明

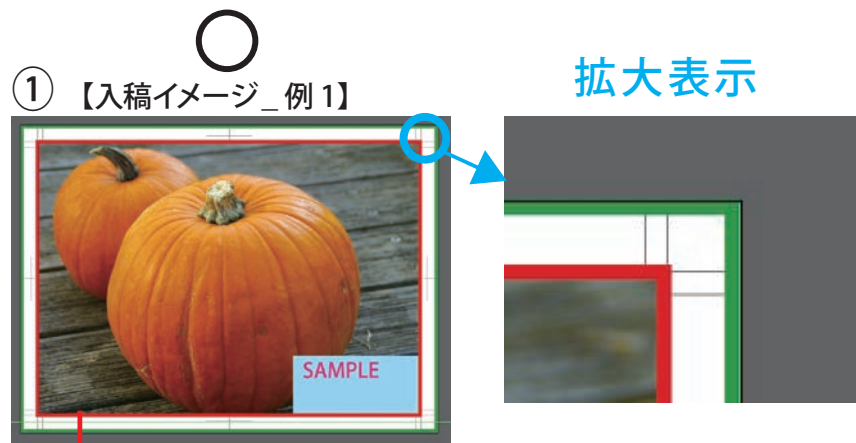
アンチエイリアス : 文字に最適

特色 : 「特色を保持」のチェックは外してください

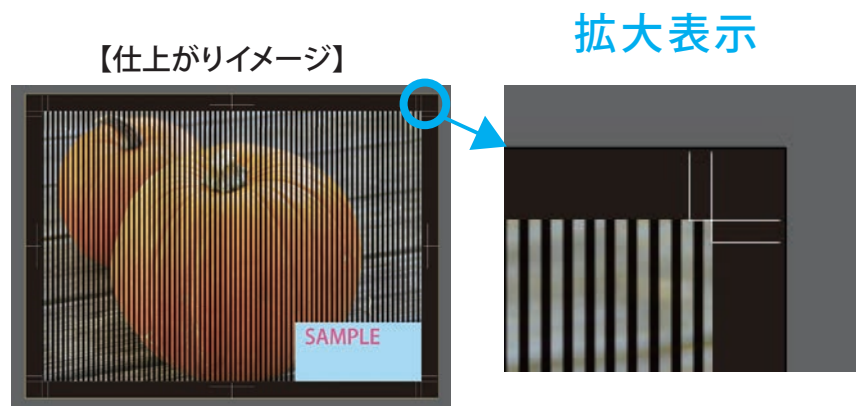
2.データ作成 (Adobe Illustrator)

【P レイヤー作成について】

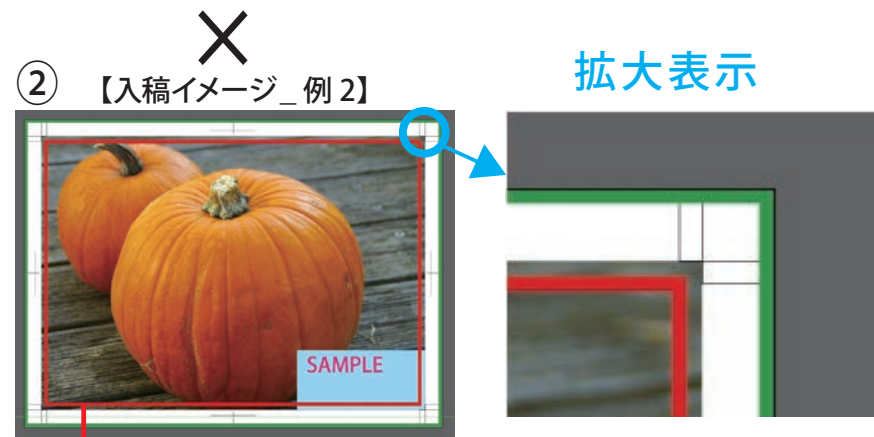
— 緑線はアートボード領域
— 赤線はストライプの入る領域 (P レイヤーの囲い)



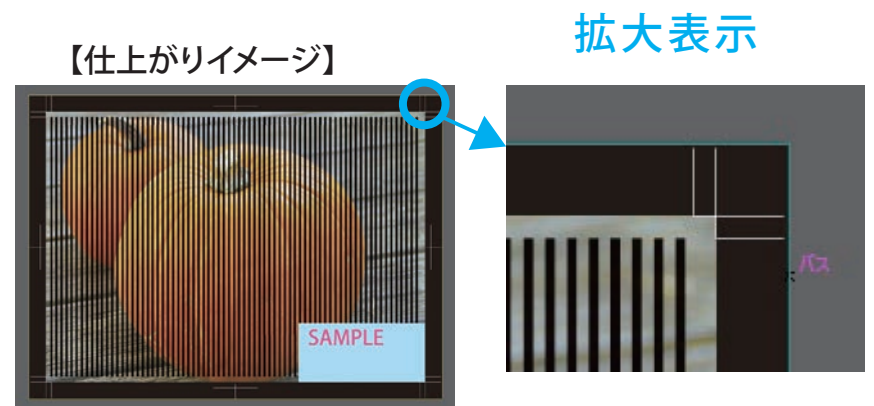
P レイヤーの囲い
P レイヤーの囲いは、塗り足し部分含み、
トンボより内側にある。



P レイヤーの囲いの外はストライプが入らないため、
トンボが見えやすくなります。トンボの色は基本白
に置き換えます



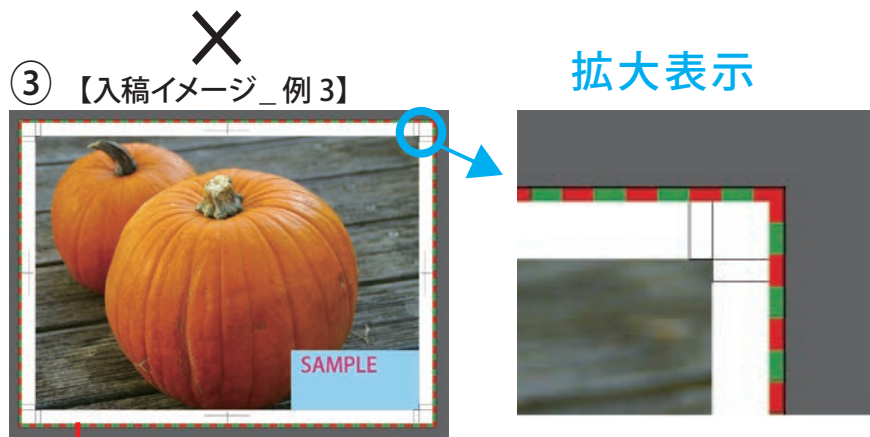
P レイヤーの囲い
P レイヤーの囲いに塗り足し部分が
入っていない。



塗り足し部分にストライプが入らなく
なり、塗り足し部分は電照データが
反映しなくなります。

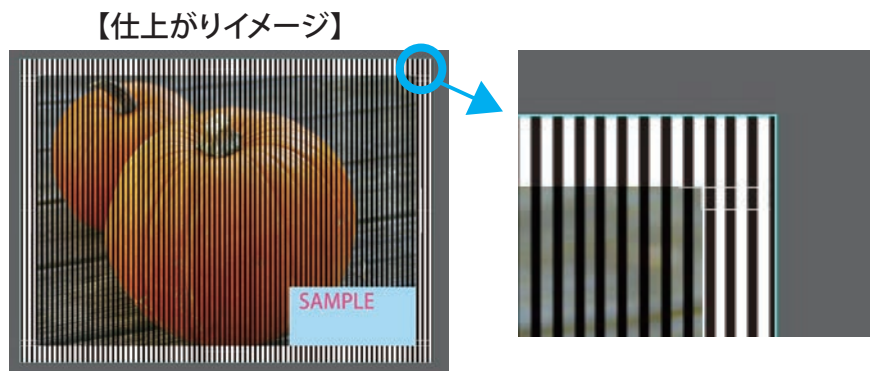
2.データ作成 (Adobe Illustrator)

— 緑線はアートボード領域
— 赤線はストライプの入る領域 (P レイヤーの囲い)



P レイヤーの囲い

P レイヤーの囲いとアートボードが同じ
サイズ。



P レイヤーの囲いの内にストライプが入るため、
トンボが見えなくなりカット位置がわからない。



P レイヤーの囲い

「CL」 レイヤーを考慮して「P」 レイヤーを作成している。
「P」 レイヤーに関係なく「CL」 レイヤーにはストライプは
入らないため、このような囲いではなく長方形が良い。

2.データ作成 (Adobe Illustrator)

【ストライプをかけたくない絵柄や文字がある場合：CL レイヤー作成】

文字が小さくストライプが入ると見えづらくなる時は「CL」レイヤーにデータ配置します

1. CLレイヤーにデータを配置しない場合

<illustrator レイヤー構成>

CL レイヤー→

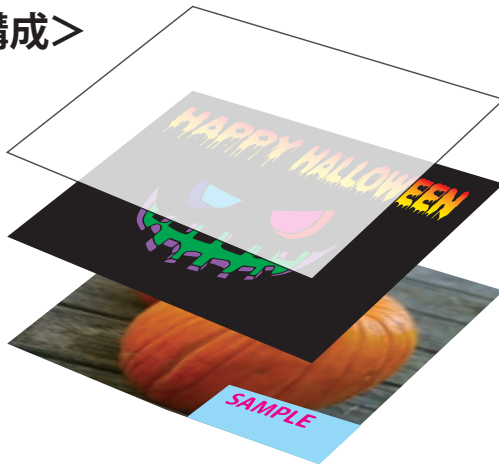
※データなし

2CF レイヤー→

※電照時で光らせる絵柄

2C レイヤー→

※通常絵柄



<実際の仕上がり状態>



拡大



CL レイヤーに文字がないため、小文字は見えづらくなる

2. CLレイヤーにデータ (文字・図形) を配置した場合

<illustrator レイヤー構成>

CL レイヤー→

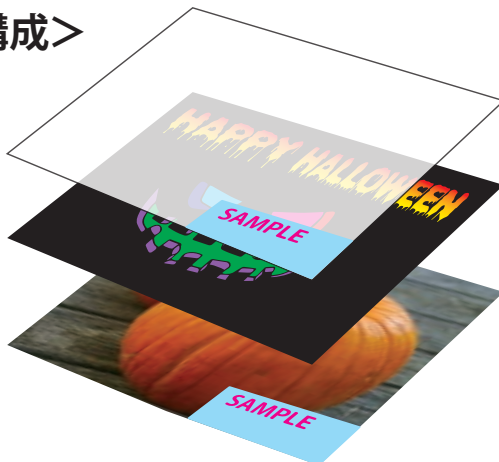
※文字・図形

2CF レイヤー→

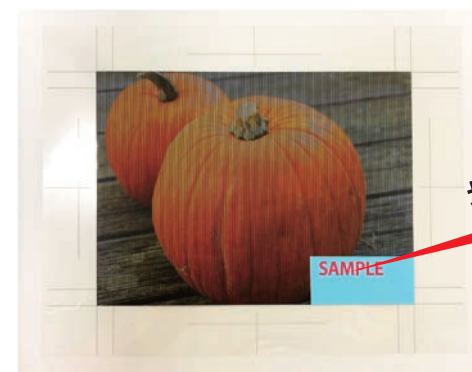
※電照時で光らせる絵柄

2C レイヤー→

※通常絵柄



<実際の仕上がり状態>



拡大



文字が見えやすくなります

※CL レイヤーと 2CF レイヤーが重なる部分がある場合、CL が優先され重なる部分は光りません

2.データ作成 (Adobe Illustrator)

【ストライプをかけたくない絵柄や文字がある場合：CL レイヤー作成】

文字が小さくストライプが入ると見えなくなる時は「CL」レイヤーにデータ配置します

3. CLレイヤーにデータ (図形のみ) を配置した場合

<illustrator レイヤー構成>

CL レイヤー→

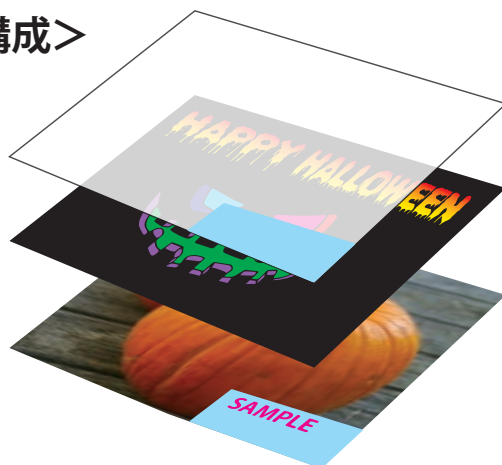
※図形

2CF レイヤー→

※電照時で光らせる絵柄

2C レイヤー→

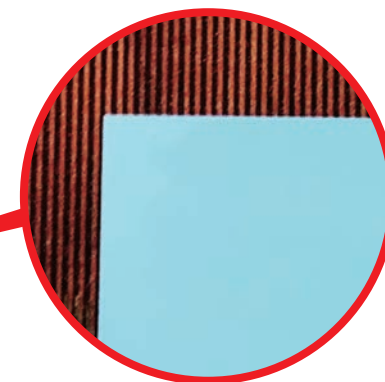
※通常絵柄



<実際の仕上がり状態>



拡大



図形にストライプは入りませんが、文字が隠れてしまいます

4. CLレイヤーにデータ (文字のみ) を配置した場合

<illustrator レイヤー構成>

CL レイヤー→

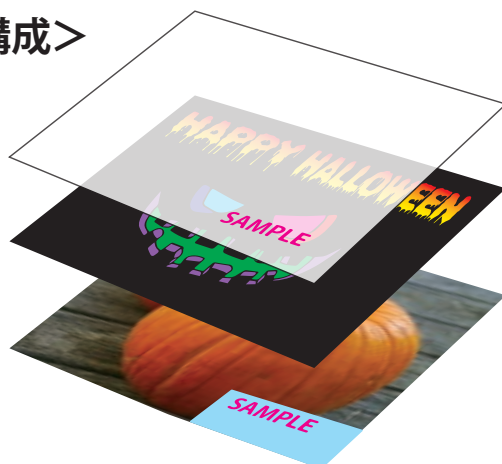
※文字

2CF レイヤー→

※電照時で光らせる絵柄

2C レイヤー→

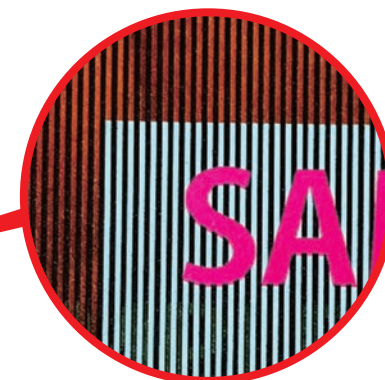
※通常絵柄



<実際の仕上がり状態>



拡大



文字にストライプは入りませんが図形にストライプが入ります

※CL レイヤーと 2CF レイヤーが重なる部分がある場合、CL が優先され重なる部分は光りません